

「そろそろ、ですよ！」

季節を安心して楽しむメンテナンス情報を
マリモコミュニティからお届けします。



和室にたまった夏の汚れや 湿気を取り除く

丁寧な秋掃除

畳や和紙が使われている和室は、湿気が苦手。和室の少し丁寧なお掃除には、空気が乾燥してくる秋が最適です。この機会に夏の間にたまった汚れをとり除きましょう。

壁・柱・敷居のお掃除

お掃除は高いところから行うのが鉄則です。和室の場合も、壁や柱からスタートしましょう。まずは清潔なはたきなどで、上から下へホコリを払い落とします。壁と天井のすきまには意外にホコリがたまりやすいので、とくに丁寧に。柱や照明器具にも、同様にはたきがけをします。敷居にたまったホコリは、掃除機をかけるだけではとりきれないことがあるので、ブラシや竹串などでかき出しておきましょう。

障子のお掃除

障子は、障子紙を破かないよう上から下へはたきをかけ、棧はからぶきします。引き手のまわりの黒ずみが気になるときは、かたくしぼった雑巾で木目に沿って水ぶきし、さらさらからぶきを。

畳のお掃除

壁や障子のお掃除を終えたら、畳の目に沿って掃除機をかけ、ホコリをとり除きます。畳のお手入れはからぶきが基本ですが、素足で過ごすことが多く、湿度も高い夏の後には、畳にも汚れがたまっていきます。秋の丁寧なお掃除では、かたく絞ったぞうきんで、目に沿ってしつかり水ぶきを。掃除の後は出入り口などを開けておき、室内に湿気をためないようにします。

定期的なスペシャルケアで トイレをよりすっきりした空間に！

こまめにお掃除していても、ニオイが気になったり、落ちにくい汚れがついてしまったり…。トイレをきれいに保つためには、定期的な細部まで掃除することが大切です。

便器はふき掃除&こすり洗い

便器のフタと便座の表裏、外側、フチなどは、トイレ掃除用のシートなどでふきまします。内側は、トイレ用洗剤をつけたブラシでこすり洗いを。フチ裏はとくに丁寧に洗います。水位線の黒ずみが落ちないときは、まずバケツ半分ほどの水を流し入れて水位を下げます。その後、汚れの部分にトイレ用洗剤を、30分ほどおいてからブラシでこすりましょう。

壁と床もきれいにふいて

まず、壁に上から下へ軽くはたきをかけ、掃除機やベーパーモップで床に落ちているホコリや髪の毛をとり除きます。その後、トイレ掃除用のシートで、壁と床をすみずみまでふきましょう。

ニオイの元は見えない汚れ

トイレのニオイは、見えない汚れやわずかな汚れが原因となっていることもありまます。便器と壁、床に加え、水洗タンクやベーパーホルダー、スリッパの裏なども、トイレ掃除用のシートでしっかりとふき掃除を。洗浄式便座の操作部やリモコンなども、忘れずにふいておきましょう。便座カバーやマットなどもニオイの元になりやすいので、こまめに洗濯します。



お気に入りのクッションも 汚れています！

毎日使っているクッションは、汗や皮脂などで見た目に汚れています。

まずは肌に触れているカバーの洗濯を

カバーをかけているクッションの場合、カバーを洗うのが基本。洗濯表示を確認し、水洗いが可能なら自宅で洗いましょう。外したカバーは裏返しにして、四隅や縫い目にたまったホコリをとり除きます。その後、素材に合った方法で洗います。脱水後はすぐに広げ、たいたいで形を整えてから干しましょう。

素材によっては

クッション本体の洗濯もカバーのないクッションでも、表地の素材が洗濯可能で、中身がパイプやポリエステル綿なら丸洗いが可能です。薄めた洗剤液でそっと押し洗いをし、水を数回かえてすすぎます。洗濯機で2〜3分脱水した後、中身を均一に広げて干しましょう。

